

令和元年度 委託訓練 入校選考試験問題 国語 (答は解答欄に書きなさい。)

受験科名】

【科 受験番号】

【 氏名】

【

□ 次の傍線部の漢字は読み方をひらがなで書き、カタカナは漢字に直しなさい。

- | | | | | | | | | | |
|----|----------|----|------------|----|----------|----|-----------|----|------------|
| 1 | 実況中継。 | 2 | 音響設備。 | 3 | 優雅な踊り。 | 4 | お茶を濁す。 | 5 | 販路の開拓。 |
| 6 | 凶作が続く。 | 7 | 寸暇をおしむ。 | 8 | 転倒を防止する。 | 9 | 飛行機の尾翼。 | 10 | 罰則をつくる。 |
| 11 | 驚嘆する。 | 12 | 駆け上がる。 | 13 | 訂正箇所。 | 14 | 肩車をする。 | 15 | 氣迫がこもる。 |
| 16 | シバフに座る。 | 17 | コカゲで休む。 | 18 | トウケイをとる。 | 19 | ロクオンして聞く。 | 20 | アンピを確認する。 |
| 21 | シンセンな野菜。 | 22 | 湿度をセイギヨする。 | 23 | ヒナクンレン。 | 24 | テンネンシゲン。 | 25 | 国家のボタンが増す。 |

□ 次の四字熟語を完成させるための言葉を後の選択肢から選んで、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|----|--------|
| 1 | () 不断 | 2 | 悪逆 () | 3 | () 一髪 | 4 | () 万丈 | 5 | 祭政 () |
| 6 | 一日 () | 7 | () 有望 | 8 | () 大事 | 9 | () 表示 | 10 | 玉石 () |

〔選択肢〕 ア、前途 イ、優柔 ウ、波瀾 エ、後生 オ、千秋 カ、一致 キ、非道 ク、危機 ケ、混交 コ、意思

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は常々こう考えていた。経済が発展して生活に余裕ができ、生活様式が近代化するに従って、人々は迷信を重んじる日常から解放されるはずだ、と。
 「①」高層ビルだらけの大都会に暮らし、ハイテク製品を自由自在に使いこなし、ビジネスに関しては非常に合理的でドライなもの考えた方を香港の人たちが、一方では異様なほど迷信に拘泥する。②それが最初のうち、私には奇異に映った。
 しかし暮らしているうちに印象が変わった。彼らは器用だから体のスピードに合わせていけれど、心はそこまでの速度についていけない。迷信に固執することで、かろうじてバランスを保っているのかもしれない。

街が自然から逸脱すればするほど、彼らは風水や迷信に回帰する。彼らの迷信深さは、自然に戻りたいという心の叫びなのではないか、と私は思った。しかし彼らの、時には滑稽にさえ映る真剣さが、現在東京で暮らす私には、羨ましくも感じられる。彼らの迷信深さが、尋常ではない速度で変わりゆく社会に対する無言の抵抗としたら、そんな抵抗力すら失い、迷信どころか何も信じられなくなってしまった私たちは、「②」どこへ行ってしまっただろう。自分たちの行き着く先が、私にはますます見えなくなるのだった。

(星野博美「迷信という抵抗」より)

問一 () ① () ② () に入れるべき言葉を選択肢から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

〔選択肢〕 ア、とりあえず イ、ところが ウ、また エ、もしも オ、いったい

問二 傍線部(1)「それ」が指す内容を本文から55文字以内で抜き出し、最初の5文字を答えなさい。

問三 二重傍線部「拘泥」とはどのような意味ですか。選択肢から選びなさい。

〔選択肢〕 ア、気にすること イ、こだわること ウ、目をかけること エ、悩むこと オ、戸惑うこと

問四 傍線部(2)「羨ましくも感じられる」のは何故ですか。その理由として適切なものを1つ選びなさい。

- ア、日本人には迷信深さがなくなりましたため、香港の人たちが深く迷信を信じ続けていることに違和感を持っているから。
 イ、時には滑稽なほど迷信を深く信じている香港の人々が、日本人にはない信仰心を持ち合わせていることを作者は痛感したから。
 ウ、風水や迷信などは日本にもあるのだが、香港の人ほど真剣に信じていることが少ないので、作者がその流れに抵抗できずにいるから。
 エ、自然に戻りたいという強い気持ちを日本人よりも香港の人々が持っていることに気づき、日本人にはそれに対して抵抗する力が劣っていると感じたから。
 オ、日本人は、香港の人ほど変わりゆく社会に対する無言の抵抗ができなくなっていて、迷信を信じるどころではなくなっているから。

問一	6	1	21	16	11	6	1
①							
②							
問二	7	2	22	17	12	7	2
問三	8	3	23	18	13	8	3
問四	9	4	24	19	14	9	4
	10	5	25	20	15	10	5